

受講生のみなさまへ

資料利用に関するお願い

デザイン思考研究所が作成した一部の資料は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（以下、CCライセンスという）を採用しています。弊所の資料のうち、CCライセンスを採用しているものに限り、CCライセンス規約に則り、資料を活用していただきますようお願いいたします。以下、資料を利用する際の注意点を記載させていただきました。ご一読いただけますようお願い申し上げます。※CCライセンスが明記されていない資料については、無断転載を禁止いたします

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CCライセンス）とは何か？

- 作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。
 - CCライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどをすることができます。
- 引用：<https://creativecommons.jp/licenses/>

デザイン思考研究所が採用しているライセンスについて

デザイン思考研究所では一部の資料に右図のライセンスを採用しています。



【表示-非営利-継承のCCライセンスマーク】

このライセンスは、原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンスです。

非営利とは？：団体が利益を上げてもその利益を構成員（会員など）に分配しないという「非分配」を意味します。つまり、「非営利」とは、利益を上げてはいけないという意味ではなく、「利益があがっても構成員（社員など）に分配しないで、団体の活動目的を達成するための費用に充てること」と説明できます。つまり、利益の追求を目的としている営利組織（株式会社等）は営利団体となり、弊所の資料を無断で事業目的に使用することは違反となります。

しかし、弊所は教育機関として皆様の学びを活用していただきたいと考えております。そのため、弊所の研修、講演等を受講した参加者に限り、参加者本人が籍を置いている組織（グループ会社、子会社は除く）内での自己研鑽となる勉強にのみ利用しても良いものとしています。しかし、著作者への敬意を害するような行為が見受けられた場合はすぐに完全に非営利活動にのみ利用するものとします。

ただし、弊所の資料の中には他の教育機関がCCライセンスで提供しているものも含まれます。その資料に関しては、上記に記載しているCCライセンスの原則に基づいて利用してください。

使用する際の注意点

(1) 使用する際は必ず以下の例文を資料に記載しましょう。

- 例えば、Aさんが社内で当資料の一部もしくは全部を利用して資料αを作成する際は、以下の文章とマークを資料内に追記します。

「A（資料作成者の名前）」による「資料α（資料名）」は、Creative Commons 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 License.によってライセンスされています。本資料は一般社団法人デザイン思考研究所 (<http://designthinking.or.jp/>) による「〇〇（デザイン思考研究所が作成した資料のタイトル名）」の二次資料です。

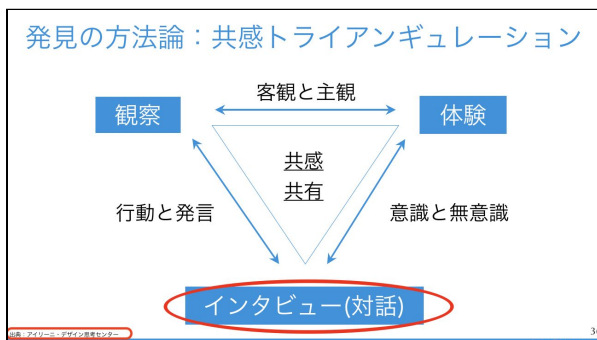


- 弊所の資料を利用して資料を作成した場合、作成してできた資料についても弊所と同様に【表示-非営利-継承のCCライセンスマーク】を使用して公開しなければなりません。

(2) 改変、一部抜粋等を行う場合は必ず注釈を付けましょう。

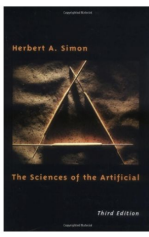
弊所の資料は出典名について以下のように記載しています。各自改変や一部抜粋を行う際は、必ずスライドに記載されている情報の出典について、作成した資料に記載を行いましょう。

例1) 左下に出典名を記載している例



例2) 右下に出典名を記載している例

デザインとは？



“Everyone designs who devises courses of action aimed at **changing existing situations** into **preferred ones**”

「現状をより良い状態へ変えることを目的に行動方針を考える人は、みなデザインをしている」

Herbert A. Simon(1996)
The sciences of the artificial